

## 【 編集後記 】

2年ぶりに編集委員会に戻ってまいりました。学会誌充実のために微力ながら尽くす所存でございますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

さて本務先が付属高校を多く持っていることもあり、高校の先生と付き合う機会が多くなっています。理科系の学生の減少は周知のこととなっておりますが、その中では「化学」「生物」に比べて「物理」履修の学生の減少が甚だしくなっているようです。どうやら高校生の間では「物理」は基本的な法則を使用して論理的に解答を導き出す頭脳労働であり「化学」「生物」のような暗記ものより楽ではない、少なくとも点数はとりにくいと認識があるようです。「物理」の中でも特に「熱力学」に関する部分に至っては論理的に解答を導く部分が教科書からも削除され、気体分子運動論からの理想気体状態方程式の導出、マイヤーの式、ポワソンの式は登場しない、もしくは登場しても天下りの覚えよ！という形になっております。

このことによる大学のダメージは深刻なものがあります。「化学」「生物」の分野においても、本誌解説が示すように頭脳労働は必要不可欠であるのに、それから逃避していたことに少数の学生が気付いているものの、どうしたらよいか分からず戸惑っています。大学教員としては学生に頭脳労働をさせ、その楽しさを教えることに全力を尽くしているのですが、手遅れであるケースが多数です。このままでは學術の裾野の広がりが期待できません。しかしながら希望はないわけではありません。大学の講義で熱力学と自動車のエンジン・発電所の仕組みの関係など実践的なことを教えると学生の食いつきが非常に良くなってきています。本誌でも「熱測定」「熱力学」の実践的応用の紹介・教育などをテーマとしていただければ、裾野を広げることには大きく貢献できるのではないのでしょうか。

なお個人的なことになりますが、より学会の裾野が広がり有望な若手が続々登場すれば、私の編集委員会への復帰もなかったかも知れません。

(橋本拓也)

## 【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 學術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, e-mail: info@jaacc.jp  
なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、學術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A.

TEL. +1-978-750-8400, FAX. +1-978-646-8600

## 2010年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 猿山 靖夫

(編集委員) 内山 進, 小川 英生, 川上 亘作, 中別府 修, 宮崎 裕司, 橋本 拓也

(拡大編集委員) 神崎 亮, 清野 肇, 古賀信吉, 橘 信, 松本 里香, 三木 久美子

熱測定 Vol.37, No.2, 2010

平成22年3月25日 印刷

昭和52年5月27日 第4種郵便物(學術刊行物)認可

平成22年3月31日 発行

発行人 日本熱測定学会 吉田 博久

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 e-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 e-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jscta/index.html>

郵便振替口座 00190-5-110303

